

## 背景

- ◆最近の日本経済においては、円安の進行や株価の上昇などにより企業の収益が回復し、国民経済に明るい兆しが見え始めている一方、地方においては、まだまだ景気回復を実感するまでには至っていない。
- ◆本市においても、生活保護者数や待機児童数が年々増加するなど、市民生活の不安が続いている。



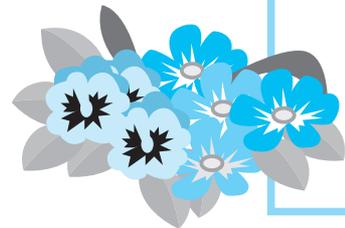
## 目標

### 市民の幸福感の向上

- ◆雇用、安心・安全、健康など、「地域で暮らす市民の普通の生活を守る」ことを基本とし、まちの活性化を目指します。
- ◆まちづくり自治基本条例の趣旨に基づき、行政ができること、市民ができることを共に考えながら、参加と協働によるまちづくりを進めます。
- ◆これらの取組によって、より多くの市民が幸福感を実感できるような地域社会の実現を目指します。

## 平成26年度の施政方針

2月定例会は27日に開会し、3月19日に閉会しました。補正予算11、当初予算9、条例13、一般7、人事3の計43議案を審議し、そのすべてについて原案どおり可決しました。平成26年度の一般会計当初予算は前年度に比べ45億円増の897億円となりました。



### 平成26年度の予算総額

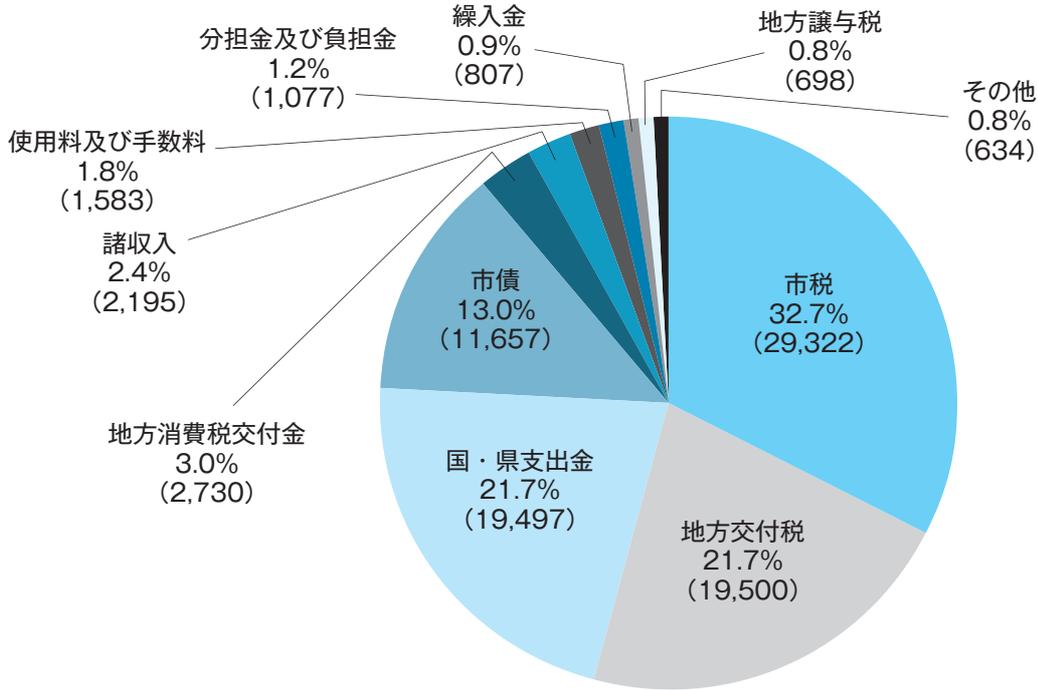
会計		予算額	増減
一般会計		897億円	45億円 (+5.3%)
特別会計	国民健康保険	290億2,100万円	△1億8,900万円 (△0.6%)
	国民健康保険診療所	9,000万円	△1,300万円 (△12.6%)
	後期高齢者医療	29億2,000万円	1億3,300万円 (+4.8%)
自動車運送事業 (市営バス)		12億4,200万円	1億200万円 (+8.9%)
水道事業		63億4,000万円	7億3,800万円 (+13.2%)
下水道事業		154億9,400万円	18億800万円 (+13.2%)
工業用水道事業		1,500万円	400万円 (+36.4%)
富士大和温泉病院事業		17億9,400万円	△9,800万円 (△5.2%)

# 平成26年度当初予算一般会計の状況

（単位：百万円）

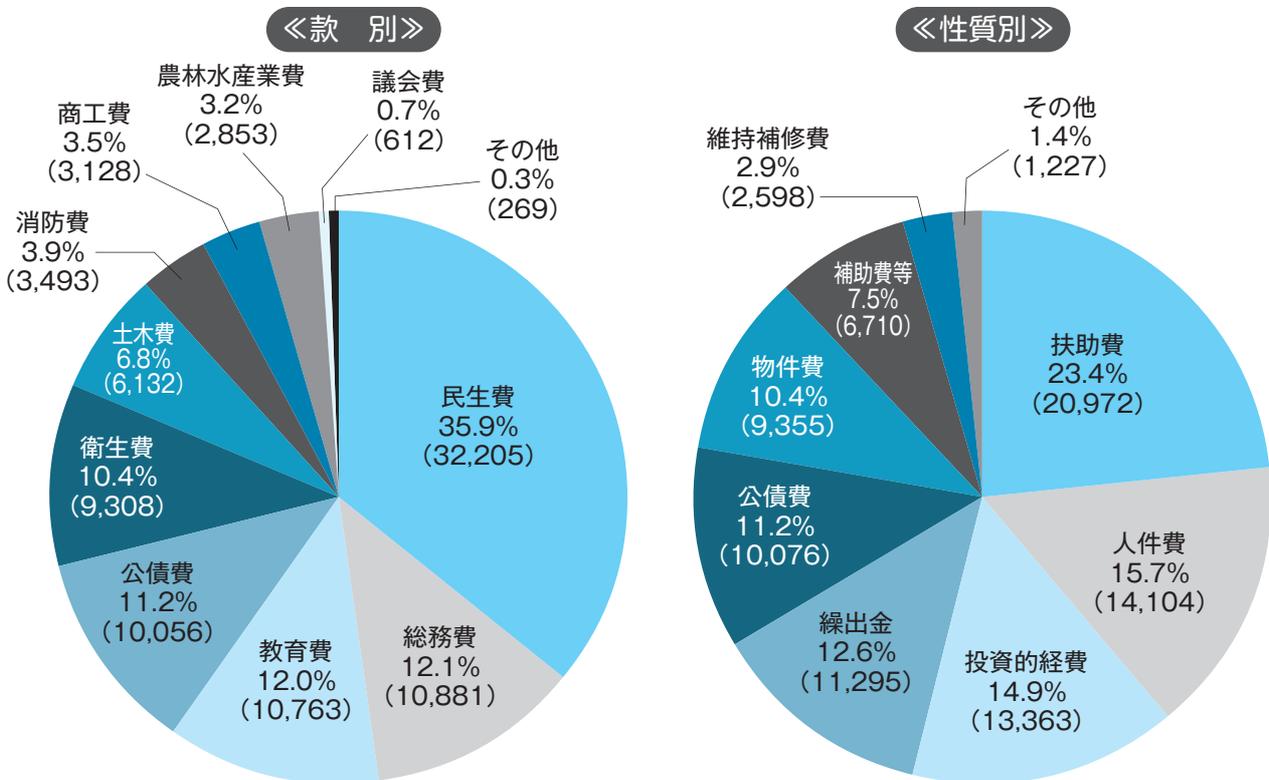
## 【歳入】

〔歳入総額 897億円〕



## 【歳出】

〔歳出総額 897億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。